表 2-1　学習・教育到達目標と基準 1(2)の(a)～(i)との対応

E 科の各学習・教育到達目標 〔(A), (B), (C) - - - 〕 が JABEE 基準の知識・能力 〔(a)～(i)〕 を主体的に含んでいる場合には◎印で，付随的に含んでいる場合には○印で表示している。

JABEE 基準の知識・能力 ＼ 学習・教育到達目標		(a)	(b)	(c)	(d) 該当する分野の専門技術に関する知識とそれらを問題解決に応用できる能力				(e)	(f)	(g)	(h)	(i)
		地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養	技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、および技術者が社会に対して負っている責任に関する理解（技術者倫理）	数学、自然科学および情報技術に関する知識とそれらを応用できる能力	(1) 専門に関する基礎学力	(2) 実験の計画遂行能力	(3) 与えられた専門的課題を解決する能力	(4) 専門的課題の設定能力	種々の科学、技術および情報を利用して社会の要求を解決するためのデザイン能力	日本語による論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力および国際的に通用するコミュニケーション基礎能力	自主的継続的に学習できる能力	与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力	チームで仕事をするための能力
(A)国際性を含めた幅広い視野と教養を身につける。	A-1 社会人としての教養	◎	○							○			
	A-2 政治経済、国際協調	◎	○							○			
(B)技術者としての社会的責任と倫理観を養う。	B-1 技術者の役割と責任	○	◎										
	B-2 技術者としての倫理観	○	◎										
(C)技術者として必要な自然科学・情報技術の学力を身につける。	C-1 自然科学の基礎			◎	○						○		
	C-2 情報技術（IT）			◎					○		○	○	
(D)専門分野の基礎科目について十分な学力を身につける。	D-1 専門基礎の理解			○	◎						○		
	D-2 専門基礎の総合的に理解・応用			○	◎		◎				○		
	D-3 演習・実験による具体的な理解					◎	◎		○			○	○
(E)専門分野についての知識を身につけ、総合的に活用して社会の要求を解決できるエンジニアリング・デザイン能力を養う。	E-1 各専門分野の基本原理				◎		◎				○		
	E-2 応用力の素養					○	◎	○	○		○	○	
	E-3 エンジニアリング・デザイン能力					○	○	◎	◎			○	○
(F)自己の考え方を発表・表現し他人とのコミュニケーション能力を養う。	F-1 国際的なコミュニケーション能力	○								◎			
	F-2 プレゼンテーション能力									◎		○	○
	F-3 柔軟な思考力・討論能力									◎		○	○
(G)チームワーク力と計画的実行力を養い，技術者としての探究心と向上意欲を培う。	G-1 継続的努力と研鑽										◎	○	
	G-2 問題解決力						○	◎	○		○	○	○
	G-3 チームワーク力・計画的実行力											◎	◎